

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助演習 I (2 単位)		3. 科目番号	SCMP3168
2. 授業担当教員	茅野 由紀・鈴木 愛子			
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク演習 I、II、精神保健福祉援助演習 I、II、IIIは、1 年次から 4 年次まで断続的に学習するよう構成されている。グループ討議、ロールプレイ、文献調査、社会調査、事例検討等の多様な方法を用いて、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れながら、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的としている。</p> <p>精神保健福祉援助演習 I では、自己覚知やコミュニケーションなど精神保健福祉士として必要な基本的技術を学習し、終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自己覚知</li> <li>2) 基本的なコミュニケーション技術の習得</li> <li>3) 基本的な面接技術の習得</li> <li>4) グループダイナミクス活用技術の習得</li> <li>5) 情報の収集・整理・伝達の技術の習得</li> <li>6) 課題の発見・分析・解決の技術の習得</li> <li>7) 記録の技術の習得</li> <li>8) 地域福祉の基盤整備にかかる事例を活用し、次に掲げる事柄について実技指導を行う <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握</li> <li>②地域アセスメント</li> <li>③地域福祉の計画</li> <li>④ネットワークング</li> <li>⑤社会資源の活用・整備・開発</li> <li>⑥サービス評価</li> </ol> </li> </ol>			
8. 学習目標	<p>精神保健福祉の知識と技術に係る科目との関連も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助にかかる基礎的な知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①相談援助にかかる基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を用いる。</li> <li>②個別指導並びに集団指導を通して、地域福祉の基礎整備と開発に係る具体的な相談事例を体系的に取り上げる。</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>第 1 回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己覚知について</li> <li>2 面接技術について</li> <li>3 ソーシャルワークの援助過程について</li> </ol> <p>その他、授業中に振り返りのレポートを課す</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『精神保健福祉士養成セミナー 7 巻 第 6 版 精神保健福祉援助演習 [基礎] [専門]』へるす出版、2017</p> <p>【参考書】 長崎和則・辻井誠人・金子勉著『事例でわかる！精神障害者支援実践ガイド』日総研出版、2006</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 面接を中心とした対人援助の基本 (姿勢・技術) が理解できる。</li> <li>2. 授業を受ける基本的マナー (出席状況、提出物等) を守り、授業に積極的に参加している。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業時に出される課題、発表、提出物 : 総合点の 70%</li> <li>2. 授業への積極的参加態度 : 総合点の 30%</li> </ol>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本授業は、精神保健福祉士として必要な知識、理論を実践的に身に付けていくものです。他の授業で学んだことを実践的、総合的に理解するためにも必要な授業となっています。精神保健福祉士を目指すためには、真剣に授業に取り組むことが期待されます。</p>			
13. オフィスアワー	別途通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・精神保健福祉援助演習 I のねらいの解説 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 専門職養成における演習の位置づけと目的を理解する</li> </ul> </li> </ul>	事前学習	ソーシャルワーク演習 I、II で学んだ内容を振り返る。テキスト [基礎編] 序章～第 1 章「精神保健福祉援助演習の目的」を熟読する。	
		事後学習	演習において身に付けたいことを書きだす。	
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解を深める (1) <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 自己覚知について理解する</li> <li>－ 対人援助職における自己覚知の意義を考える</li> </ul> </li> </ul>	事前学習	テキスト [基礎編] 付章「自己理解を深める」を熟読する。	
		事後学習	自己覚知はなぜ必要かまとめる。	
第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解を深める (2)</li> </ul>	事前学習	テキスト [基礎編] 付章「自己理解を深める」	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ー ジェノグラム、エコマップなどマッピング技法を用いて自己理解につなげる</li> <li>ー 自分の価値観をみつめ、自分の価値観に基づく他者との関係性のあり方を考える</li> <li>ー 自己理解を深めたうえで、他者理解について考える</li> </ul>	事後学習	を熟読する。 授業での実践を通して自分について考えたことをまとめる。課題1を作成する。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションの理解</li> <li>ー コミュニケーションの過程を理解する</li> <li>ー 言語・非言語コミュニケーションについて理解し、その活用方法を学ぶ</li> <li>ー ロールプレイを用いてコミュニケーション技術を学ぶ</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第3章Ⅰ「基本的込みにケーション」を熟読する。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クライアントに対する姿勢</li> <li>ー 人と人が話をする際の距離についてロールプレイを通じて学習する</li> <li>ー バイステックの7原則について実際の援助場面を想定して理解を深める</li> </ul>	事前学習	バイステックの7原則について復習する。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接における技術：基本的応答技法</li> <li>ー 単純な反射、言い換え、要約、明確化、感情の反射、開かれた質問、閉じた質問等面接技術についてロールプレイ等を通じて習得する</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第3章Ⅱ「基本的面接技法」を熟読する。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接における技術：応用</li> <li>ー 基本的応答技法を用いて事例に基づく面接を実践する</li> </ul>	事前学習	あらかじめ配布された事例に目を通し、わからない用語を調べる。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の収集・整理・伝達の目的、原則、方法を学ぶ</li> <li>ー 情報収集・整理・伝達の目的、原則、方法を理解する</li> <li>ー ロールプレイを用いて情報の収集・整理・伝達の技術を習得する</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第3章Ⅳ「情報の収集・整理・伝達」を熟読する。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題の発見・分析・解決の技術の習得</li> <li>ー 課題の発見・分析・解決方法を学ぶ</li> <li>ー ロールプレイを用いて課題の発見・分析・解決の技術を習得する</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第3章「課題の発見と分析」を熟読する。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルワークにおける記録について理解し、技術を習得する</li> <li>ー 記録の目的と方法を理解する</li> <li>ー 事例を用いて記録を実践する</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第3章Ⅵ「記録の在り方」を熟読する。
		事後学習	〔事例を用いて記録する練習を行う。〕
第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルワークの援助過程を理解する</li> <li>ー インテーク～終結までの過程とそれぞれの段階における必要な姿勢、技術を理解する</li> <li>ー インテーク場面をロールプレイで実践する</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第4章Ⅰ「成長と変化としての援助過程」Ⅱ「レポーターとしての基本的援助方法」を熟読する。
		事後学習	学んだ事柄をまとめる。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルワークの援助過程の実践：アセスメント</li> <li>ー アセスメントに必要な視点（ICF、ストレングスモデル）を理解する</li> <li>ー ICF、ストレングスモデルに基づくアセスメントを実践する</li> </ul>	事前学習	あらかじめ配布された事例に目を通し、わからない用語を調べる。
		事後学習	学んだ事柄をまとめる
第13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルワーク援助過程の実践：支援計画立案～終結</li> <li>ー ニーズを基に支援計画を立案する</li> <li>ー モニタリング、終結、アフターケアの意義とその方法を理解する</li> </ul>	事前学習	あらかじめ配布された事例に目を通し、わからない用語を調べる。
		事後学習	〔ロールプレイの考察をまとめる。〕
第14回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループダイナミクス活用技術を習得する</li> <li>ー グループダイナミクス理論を学ぶ</li> <li>ー ロールプレイを用いてグループダイナミクス活用技術を実践する</li> </ul>	事前学習	テキスト〔基礎編〕第3章Ⅲ「グループワークの活用」第4章ⅡB「グループワーク」を熟読する。ソーシャルワーク演習Ⅱで学んだことを振り返る。
		事後学習	学んだことをまとめる。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉の基盤整備の実践に必要な技術を知る</li> <li>ー アウトリーチ、ニーズ把握、地域アセスメント、地域福祉計画、ネットワークキング、社会資源について理解する</li> <li>・ 演習Ⅰのまとめと演習Ⅱへの課題</li> </ul>	事前学習	ソーシャルワーク演習Ⅰで学んだことを振り返る。
		事後学習	演習Ⅰで学んだことを振り返り、身に付いたことと今後の課題を書きだす。